

グリーンマテリアル新領域セミナー

生物・環境科学とファイバー工学によるグリーンイノベーション創出

■開催主旨

グリーンテクノロジーという用語は、現在の地球環境を守りながら人類の社会経済活動との持続的な調和を目指す研究開発から生み出される次世代工学技術のことを意味します。グリーンテクノロジー開発には、生態学、環境計測、環境科学・工学、生物科学、土木工学、材料工学、エネルギー工学、医療技術工学など多岐にわたる学際・境界領域研究の推進、つまり異分野研究者間の有機的連携が必要です。またグリーンマテリアルは、グリーンテクノロジー研究開発により生み出される新素材のことを指し、環境適合性に優れ、炭素排出量を低減し、将来にわたる環境保全に役立つ材料を創出するために欠くことのできないものであり、今日私たちが常用している石油化学製品に次第にとって変わると期待されています。

本セミナーでは、エネルギー事業における局所的生物問題に関わる話題から地球環境問題への取り組みまで、幅広い研究分野から第一線の研究者3名をお招きし、信州大学が保有するファイバー工学との連携・融合の可能性を探求しながら、グリーンテクノロジーによる技術革新、すなわちグリーンイノベーション創出につながるような交流の場を設けるために企画致しました。

数多くの参加・聴講を歓迎しますとともに、この機会を積極的にご活用されますことを期待しております。

■日時：平成22年12月3日(金) 9:00~15:30 (講演会終了後、キャンパスツアー、意見交換会を予定)

■場所：信州大学繊維学部 大学院研究棟 604 番講義室 (長野県上田市常田 3-15-1)

■参加費：無料

■プログラム

9:00 開会挨拶 信州大学繊維学部研究企画室長 森川 英明

9:10 グリーンテキスタイルG 研究課題紹介

信州大学繊維学部 グリーンテキスタイルGリーダー 塚田 益裕

9:20 電気事業にかかわる生物の諸問題-特に海洋生物の問題点について

電力中央研究所 環境科学研究所生物環境領域 主任研究員 野方 靖行

10:10 フジツボ水中接着蛋白質の自己集合・固化機構としてのナノファイバー形成

製品評価技術機構生物遺伝資源開発部門 紙野 圭

11:00 生物環境の評価法と現状について

海洋生物環境研究所 中央研究所長 原 猛也

11:50 (昼食)

13:00 廃棄物となった繊維の環境浄化への応用

信州大学繊維学部 応用生物学系 准教授 森脇 洋

13:50 "Sea Silk" のファイバーテクノロジー

信州大学繊維学部 高分子工業研究施設 准教授 大川 浩作

14:40 バイオファイバー新領域探求 -ヒゲナガカワトビケラ幼虫由来シルクタンパク質-

信州大学繊維学部 応用生物学系 助教 野村 隆臣

15:30 キャンパスツアー (信州大学繊維学部施設・設備紹介) 案内役 大川 浩作

17:00 - 21:00(終了予定) 意見交換会

■参加申し込み期限：平成22年11月19日(金)

■参加申し込み連絡先：大川浩作 kohkawa@shinshu-u.ac.jp (信州大学繊維学部 高分子工業研究施設)

■企画：信州大学繊維学部グリーンテキスタイルG、■共催：信州大学 GCOE 国際ファイバー工学教育研究拠点